

食品安全の未来をひらきます

日本発・国際標準に整合した
食品安全マネジメント認証



一般財団法人食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association: JFSM

みんなで取り組む食品安全

JFS 規格 / 認証スキームが求められる背景と理由

消費者が安心して食卓を囲めるように、安全な食品を継続して提供することは、すべての食品事業者の使命です。また、食のグローバル化が進む中、和食やそれに使われる食品の世界市場への展開と普及は、日本の食品産業における重要な成長戦略といえます。国内市場も、海外からのお客様の増加や食材調達などを通じてグローバルな視点が求められます。

日本の消費者にとどまらず、世界の消費者からの信頼を得るため、食品事業者が活用しやすく、また HACCP を含む国際標準に整合した食品安全マネジメント規格を共有する必要性が急速に高まっています。

一般財団法人食品安全マネジメント協会 (JFSM) は、日本発の食品安全マネジメント規格 (JFS 規格) とその認証のしくみを構築し、運営する役割を担うスキームオーナーです。

食品の安全確保は、個々の食品事業者が単独で取り組むだけでなく、フードチェーンの各段階におけるすべての事業者が取り組むことによって、その有効性が高まります。JFSM は、JFS 規格 / 認証スキームの普及推進と、それを支える人材の育成、及び世界の情報の発信を通じて、食品産業の更なる安全管理レベルの向上と管理コストの最適化、及び消費者の信頼確保に寄与したいと考えています。

*スキーム：規格とそれに基づく認証のしくみ全体をいいます

JFSM の担う役割

日本発・国際標準の食品安全マネジメント規格と
その認証スキームを広めます



HACCP への対応を支え、
輸出拡大にも寄与します



食品安全管理の
コストの最適化に貢献します

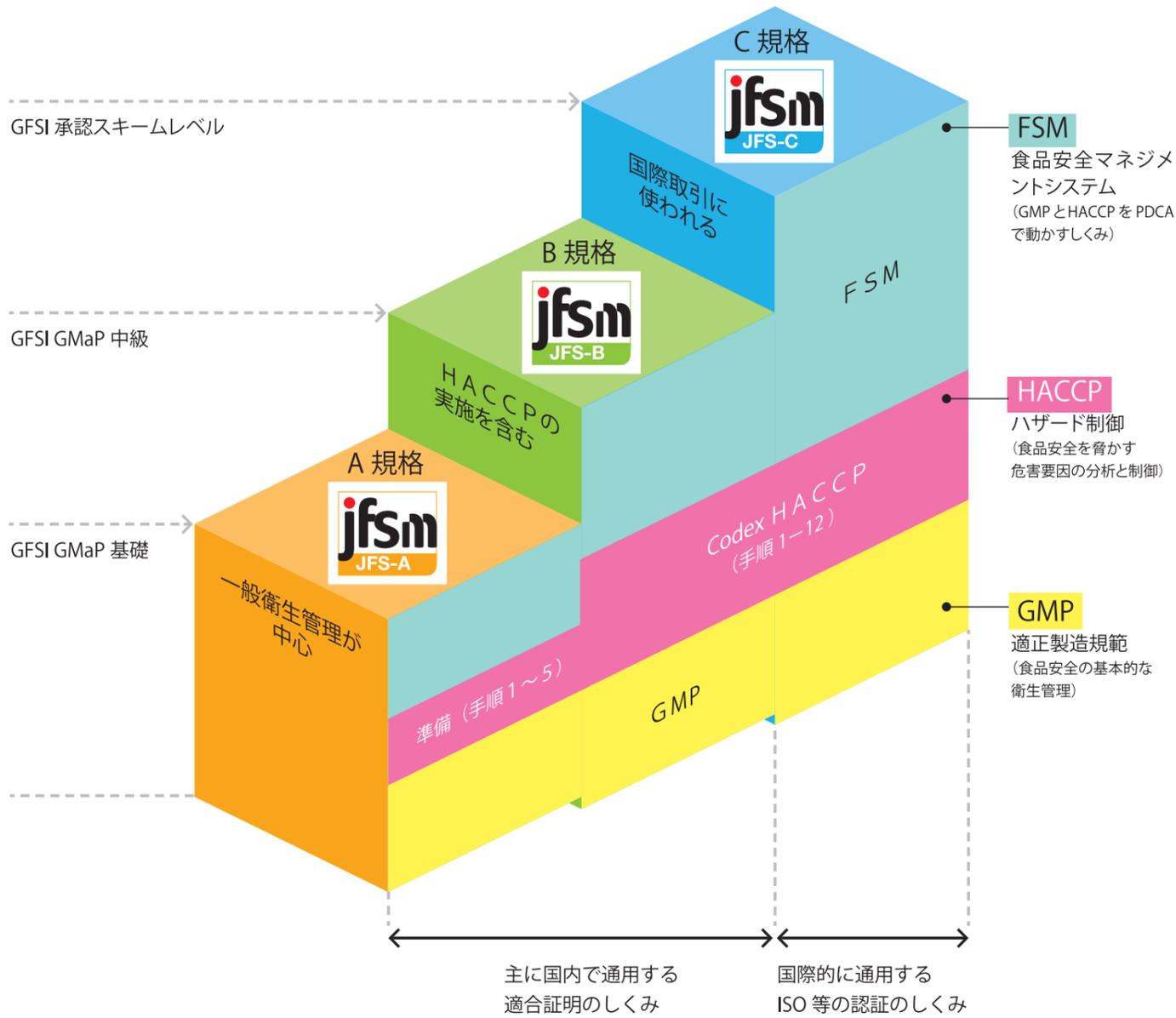


国際的な標準化活動と、情報
発信のできる人材を育成します

すべての食品事業者にとって取り組みやすい 3段階のしくみ

< 認証／適合証明を受けることによるメリット >

- ①国際標準の GFSI 承認食品安全マネジメント規格に適合
- ②販売地域を拡大しグローバルサプライチェーンにも参入
- ③HACCP の制度化に対応
- ④第三者監査のコスト最適化



GFSI
世界最大の消費財企業の業界団体である「コンシューマーグッズフォーラム(CGF)」の「食品安全」をテーマにした分科会組織

GMaP (グローバルマーケットプログラム)
中小規模の会社が、GFSI 承認規格を取得するための、ステップバイステップのプログラム

< JFSM 公表文書の全体像 >

スキーム・プログラム文書だけでなく、A/B/C 共通の規格解説書と各規格個別のガイドラインも公表しています

現在の対象セクター：製造セクター (E1~EIV, L) (2018年4月現在)。今後は外食等のセクターにも拡大してまいります。

規格	スキーム・プログラム文書	解説書	ガイドライン
組織への要求事項	規格・認証運営のしくみ	規格の要求項目を解説	組織が具体的に何を実施すべきかの考え方と具体的事例
JFS-C 規格	JFS-C スキーム文書	JFS-A/B/C 規格(製造)の解説書	JFS-C 規格ガイドライン
JFS-B 規格	JFS-A/B 規格監査及び適合証明プログラム文書		JFS-B 規格ガイドライン
JFS-A 規格			JFS-A 規格ガイドライン

品目に着目したガイドライン(味噌、惣菜、水産物等)を検討中です。

< 認証／適合証明取得までの STEP >

STEP 1

キックオフ

JFSM ウェブサイトにアクセスし、JFS-A/B/C 各規格の詳しい内容を確認の上、取得方針を決定します。

STEP 2

マネジメントシステム構築

ガイドライン、解説書、チェックリストを参考に自組織をチェックし、すべての要求項目に対応する食品安全マネジメントシステムを構築します。

STEP 3

審査／監査、登録

- JFSM に登録・公表された認証機関／監査会社を選定・契約し、審査／監査を受けます。
- 認証／適合証明が得られると JFSM のウェブサイトにて認証／適合証明を受けた組織名・サイト名が公表されます。

フードチェーンを支える産官学の連携により、日本発の食品安全 マネジメント規格の運営主体として、JFSM は生まれました

JFSM は、食品関係企業、農林水産省および大学の研究者の連携により検討が開始され、約2年の準備期間を経て、国内の食品関係事業者と有識者によって2016年1月に設立されました。

法人概要

名 称 一般財団法人食品安全マネジメント協会
設立年月日 2016年1月8日

評議員

池戸 重信 (一般社団法人日本農林規格協会)
片岡 茂博 (キッコーマン株式会社)
三毛 明人 (株式会社ヤクルト本社)

理事長

西谷 徳治 (弁護士)

理 事

青山 誠一 (株式会社セブン-イレブン・ジャパン)
岩間 清 (日本ハム株式会社)
内田 昌則 (キューピー株式会社)
内堀 伸健 (日本生活協同組合連合会)
梅津 克彦 (ヤマトホールディングス株式会社)
川崎 順司 (株式会社ニチレイ)
河村 肇 (株式会社ローソン)
窪田 英俊 (株式会社明治)
小山 郁 (日本マクドナルド株式会社)
西中 直子 (アサヒグループホールディングス株式会社)
野崎 和美 (全国農業協同組合連合会)
平山 ひかる (株式会社吉野家ホールディングス)
古久保 雅子 (サントリー MONOZUKURI エキスパート株式会社)
前鶴 俊哉 (日本製粉株式会社)

監 事

広田 鉄磨 (関西大学)

設立者一覧

《法人》
アサヒグループホールディングス株式会社
味の素株式会社
イオン株式会社
キッコーマン株式会社
キューピー株式会社
サントリービジネスエキスパート株式会社
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
株式会社ニチレイ
株式会社日清製粉グループ本社
日本生活協同組合連合会
日本製粉株式会社
日本ハム株式会社
株式会社明治
株式会社ヤクルト本社
山崎製パン株式会社
雪印メグミルク株式会社
株式会社吉野家ホールディングス
株式会社ローソン
《有識者》
関西大学化学生命工学部
広田 鉄磨
東京海洋大学先端科学技術研究センター
湯川 剛一郎

(設立時の法人名・大学名 / 五十音順)

(氏名五十音順 / 2018年4月現在)

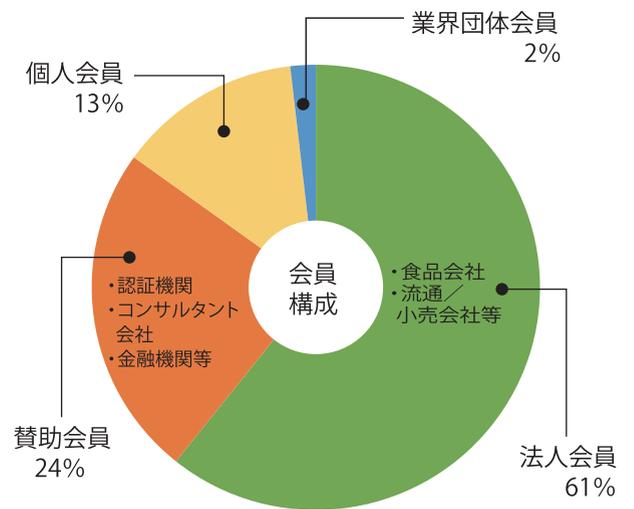


入会のメリット

- 食品安全管理規格／運営・食品行政に関する国内外の最新情報が得られます
会員専用ウェブサイトやメールマガジン等を通じて最新情報を提供しています。
- 研修・セミナーへの優先申込・割引参加ができます
JFS規格関連セミナー、食品安全担当者研修、審査員／監査員養成研修、国際人材養成講座等の幅広い研修を実施しています。
- 規格・ガイドラインづくりに参画できます
新たな規格やガイドラインづくりに、作業部会や検討会等で直接ご意見を述べていただく機会もございます。
- 会員間での情報交換の場を設けます
- 会員が主催するセミナー等に講師を派遣いたします

会員構成

業界各社、認証機関、監査会社、金融機関、業界団体、個人会員等、幅広い会員の皆様によって JFSM の運営は支えられています。



入会申込

- 会員区分、企業規模により、入会金、年会費が設定されています。
- 各会員の定義及び入会方法につきましては、当協会ウェブサイトより「会員規程」をご確認ください。

<https://www.jfsm.or.jp>



2018年4月現在



一般財団法人食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association: JFSM

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-2 ビュレックス麹町

電話：03-6268-9691

FAX：03-6268-9697

E-mail: office@jfsm.or.jp



修正増刷 201804